

# 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日

2025年11月28日

P T A名		静岡県立静岡視覚特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	全校児童・生徒数	11人				

## 1. 使用状況

寄贈物品名	拡大読書器
使用学年及び人数	幼稚部2名、小学部7名、高等部2名
使用頻度	学習内容に応じて
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱視で見えにくさのある児童が各教科の学習で拡大して使用している。具体的には、国語では漢字の確認や辞書の読み取り、算数では目盛りを扱う作図、社会では地図やチラシの読み取り、理科では生き物の観察等で活用している。</li> <li>・居住地校での交流及び共同学習の際に持参し、遠方のカメラで黒板を見たり、配布プリントを拡大して見たりしている。</li> <li>・教育相談に来校した児童や在籍校の教員が使い方や活用方法を確認している。</li> <li>・理解推進活動で関係機関を訪問する際に持参し、支援機器の紹介をしている。</li> </ul>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部で講師を招いて海の生き物教室を実施した際に、小型の海洋生物を詳しく観察することができた。見やすく拡大して見ることができたため、児童は生き物の動きに関心をもち、じっくり見ることができた。</li> <li>・教育相談では、初めて機器を使う児童が、遠くの文字をカメラを使って読む等の操作練習を通して、在籍校での使用に備えることができた。</li> <li>・保健福祉センターに持参した際は、大勢の保健師が試して便利さを実感してくださった。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とその保護者が相談に来校する際にも活用していきたい。見やすくして見ることで乳幼児の関心の幅を広げるとともに、保護者へも見えにくさを補う方法の一つとして情報提供したいと考えている。</li> </ul>
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で使用した後、給食等で机上をあけたいときには、児童が自分で収納して持ち運ぶことができ、扱いやすく携帯性に富む良さを実感している。</li> </ul>

## 2. 活用の様子



1 cm程度の海の生き物を拡大して観察している様子です。

交流先の小学校の机の上に置きやすい大きさで、いつでも使えるように準備しています。



拡大読書器の特徴を説明し、実際に試していただきました。